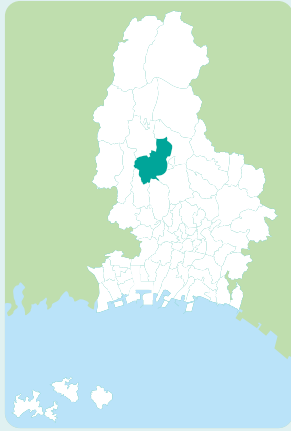


65

菅生地区

別紙MAP
C-5、D-4・5



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

杵築神社



祭神は、大国主命、野見宿禰、菅原道真など。古くは多気明神と言われ、今は「竹の宮」とも呼ばれている。古くから異(こと)相撲と呼ばれる喧嘩相撲で広く知られ、「荒浪」「一つ石」「岩崎九兵衛」という力士の墓が現存する。



どんどが淵壺穴(ふちおうけつ)



高長から流れ出た水が2mの滝となり、水の力によって長径8.5m、短径5.3mの長円形で、深さ約3mの大穴が二つあいている。「底は岡村の穴淵とつながっている」、「かっぱが棲んでいる」という言い伝えがある。



清水山窯跡・供養碑



右側より多数の須恵器や布目瓦の破片が出土し、登り窯の一部も発見され、窯跡であることが確認されている。左側の小高い所に建立されている供養碑は、正面に「南無妙法蓮華経、日蓮大菩薩」と刻まれている。



東荒木七曲り用水



水不足に悩まされた荒木の人は、奥に新池を造り、七曲りの道に沿って延々1km余りの用水路を造った。新池の水は山腹をほぼ等高線に沿って山の尾や谷を回って流れ、山を越えて北山の貯水池に入り、そこから田へ水を送る。



若王子神社



祭神は伊弉册神。慶長年間(1596～1615)の建立。現本殿は一間社春造りで建築意匠が優れた社殿として市指定文化財となっている。石の鳥居は明和2年(1765)の建立、手洗鉢は昭和3年に奉納。大杉は市指定天然記念物。



ゆめさきの森公園



県の「自然活用型野外CSR事業」の4番目の公園として平成15年に開園。面積は、通宝寺池を中心とした約180haで、農地、集落、ため池、樹林が一体となった昔ながらの里山の公園。ここでは、里山を学び楽しむ活動が行われている。



善照寺



真宗大谷派。はじめ天台宗の道場があり、15世紀中頃に浄土真宗の道場ができたと伝わる。了道の開基。東隣山麓の田畑に代官屋敷と呼ばれている所がある。



要九郎池・フレンデ



油押の大池。昔この池を築く時、要九郎という力自慢の男がいて、池づくりに従事し、大いに力をつくしたという。現在この池の一部を埋め立ててふれあいの館「フレンデ」が建てられている。



通宝山弥勒寺



圓教寺開基の性空上人が長保2年(1000)に建立した草庵が始まり。現本堂は、天授6年(1380)赤松義則によって再建。本堂と本堂内の弥勒仏・両脇持仏は国指定文化財。夢前七福神一番札所として、高さ5mの布袋が平成6年に造立。



夜泣き地蔵



清水峠の頂上近くにある地蔵さん。ここの湧き水を赤ん坊に飲ませると、夜泣きが治ると伝えられ「夜泣き地蔵」と呼ばれている。いつも新しいお花と水がお供えしており、線香の煙が絶えない。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

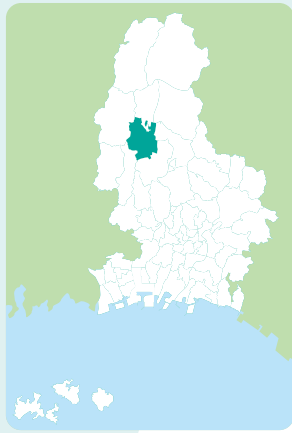
2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



- | | | | |
|--|------------------|--|------------|
| | 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | | 伝統芸能
など |
| | 神社・仏閣、
歴史的建造物 | | 景勝 |
| | 歴史上の
人物など | | 生物・花 |
| | 祭り
伝統行事 | | 町並み |
| | 美術品 | | etc その他 |

0m 500m 1km

上山古墳



泉証寺の東の山に、古墳時代後期の古墳がある。直径15mの横穴式円墳だが、南正面の羨道入口が土砂で埋まり、墳丘は崩れてなくなり玄室が上から良く見える。また、近辺には2・3・4号と3基の横穴式小規模円墳がある。



泉証寺



真宗大谷派。はじめ天台宗長顕寺があったが、文明5年(1473)第10世法円のととき浄土真宗に改宗したと伝わる。寛永8年(1631)に現在地に移り、寺号を泉証寺と改めた。



岡本太郎作「若い泉」

etc

昭和49年10月、新しい町作りのシンボルとして製作したアルミ製モニュメント。パーズタウン入り口のロータリーに設置している。万博公園の「太陽の塔」とまるで兄弟のように似ている。



千体地蔵



県道沿いの堂の中に安置され、板石は、高さ1.1m、幅87cm、厚さ10cm。板石の中央より少し上に、高さ51cmの地蔵菩薩像を中肉彫りし、これを囲んで高さ4cm、幅1cmの小さな地蔵像が20段に千体刻まれている。市指定文化財。



落岩神社



大昔、天から落ちてきた石を神体として祀ったのが当社の始まりで、後に今の地に宮居を建て氏神とした。石が落ちた所には、「石が坪」祠を建てて祀り、「宮の元」と言われた。その地名は、今も残っている。



二百余神社・狛犬



寛和2年(986)、巨智延昌が多聞寺(本誓寺の前身)の鎮守社として創建。後醍醐天皇が隠岐島より還幸の途中、多聞寺で護摩を修せられ、鎮守社に二百余の神々を合祀し、二百余社と称するようになったという。狛犬は、県指定文化財。



護持川・菅生川の蛍



古瀬畑やパーズタウン入口を流れる川で、毎年6月には、たくさん蛍が見られる。この蛍を見るために訪れる人も多い。



本誓寺



寛和2年(986)巨智延昌が鍋倉山辺に建立した多聞寺を、後に後醍醐天皇が寺号を瑞雲山護持寺と改め、地名も鍋倉から護持村になったと伝わる。25代住職恵門が寺を真言宗から浄土真宗に改宗し、寺号は瑞雲山本誓寺となる。



固寧倉(塚本)



庄屋、富豪、志のある者等の寄付により、米・麦・粉などの穀類を蓄積して凶作や災害等に備えた倉庫。江戸時代、姫路藩により多くの場所に作られたが、現在では、ほとんど残っていない。菅野地区では戸倉と塚本に残る。



薬師堂(護持)



二百余神社のすぐ西の少し小高い所にある。薬師如来と大日如来を祀る。薬師仏は多聞寺(現・本誓寺)に祀られていたものと伝わり、室町時代の作と推定される。この堂は神仏混合の名残。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

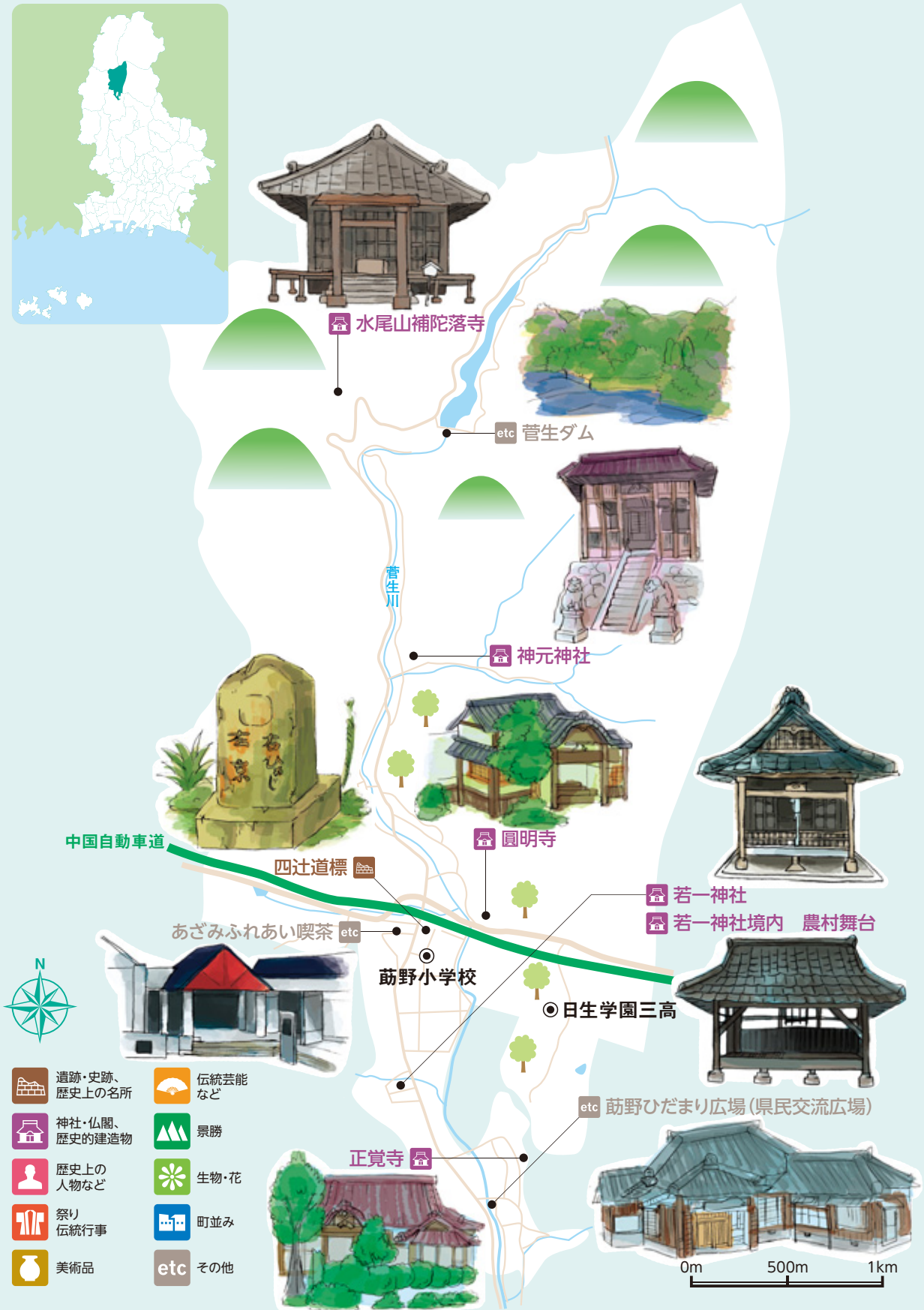
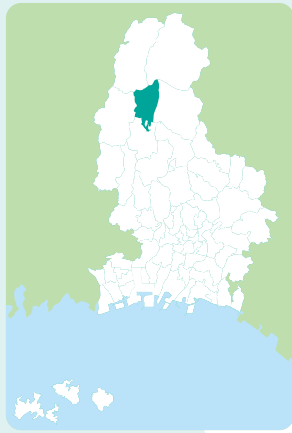
2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



あざみふれあい喫茶

etc

ふれあいの場づくりをしたいとの思いからボランティアグループによって平成14年に立ち上げられた。あざみ市民センターで毎月第4日曜日に開かれている。スタッフはすべてボランティアで10数名が活動している。



筋野ひだまり広場 (県民交流広場)

etc

地域交流コミュニティづくりを目的として平成19年に立ち上げられて、戸倉公民館で開かれている。地域住民の親睦と教養を高め、さらに健康に留意し、生き甲斐や助け合いの心や誰もが安心して暮らせる地域をつくっていかうとするもの。



圓明寺



天台宗。本尊は薬師如来。天禄元年(970)性空上人の開基と伝わる。現在地より600mほど北東の筋野谷の山上にあったが衰微。のち一心上人が再興し、やがて修験道場となり播磨教学院となった。大正12年に現在地に移築。



神元神社



第21代雄略天皇の時に創立と伝わる。祭神は伊邪那岐尊・伊邪那美尊・国常立命。川内明神・神元大明神・神元三社大明神とも呼ばれた。随神門は変形の八脚門で、本殿とともに文化元年(1804)の再建。



若一神社



野畑村の氏神であったが、野畑が神元神社の氏子に合併してから神元神社を奥の宮、若一神社を口の宮と称し神元神社の摂社となった。



若一神社境内 農村舞台



農村では作物の収穫が天候や災害に左右されることが多く、農業の神の御心を休めるため、氏神の祭礼行事として歌舞・演劇などを行うのに建てられた。一方、当時の農民唯一の娯楽としての役割もこの舞台で果たしたようだ。



正覚寺



天台宗。本尊は阿弥陀如来。「飾磨郡誌」には、長保4年(1002)性空上人の開基とある。はじめ堂山の山上にあったが、焼失して平地に移築し、後に現在地に移ったと伝わる。



菅生ダム

etc

菅生川の上流で明神山の麓にある。昭和40年の水害で菅生川沿いの地域が大きな被害を受けたため、治水事業として昭和49年にダム建設に着工し、昭和53年に完成。新緑や紅葉期の景観が美しい。



水尾山補陀落寺



性空上人の開基で、上人自ら十一面観音像を彫り、本堂に安置したと伝える天台宗寺院。天禄2年(971)、寺号を補陀落寺と称したという。観音堂は、県指定文化財。水尾山一帯は、県の自然環境保全地区に指定されている。



四辻道標



道標には「右 ひめじ 左 京道」とある。因幡(鳥取県)美作(岡山県)から大阪、京都に通ずる山街道の一角に旅の安全を祈念して建立したのであろう。道路状況の変化で何時の頃か現在の場所に移されたものと考えられる。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



中国自動車道

恒屋城跡(ほか7箇所)

休養センター香寺荘 etc

恒屋踊りと播州音頭

太子例祭(お太子さん)

溝口廃寺跡

土師獅子舞

中寺小学校

香寺高

溝口駅

片山古墳

香寺中学校

的部里

岩部の渡し

岩部の樽かき

播但線



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 伝統芸能など
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 景勝
- 歴史上の人物など
- 生物・花
- 祭り 伝統行事
- 町並み
- 美術品
- etc その他

0m 500m 1km

的部里



的部里は、「播磨国風土記」で、5世紀ごろ弓矢などの武具を製作した的部が居住していたと伝わる所である。付近の上境遺跡では、平成3年坪堀調査の際、竪穴式住居跡から焼けた木や、弥生時代中期後葉のかめ、高坏、鉢が発掘された。



太子例祭(お太子さん)



お太子さんは、太子堂内で毎年聖徳太子命日、2月22日(近年は、2月第4土曜日)に行われる。近郷の曹洞宗派寺院僧侶による般若心経600巻の転読供養法要を中心に、景品があたる福引等を行う祭りである。



岩部の樽かき



昔、大雨により、市川が氾濫した際、竜のごとき大蛇が大水害から身をもって村を守ったと伝わり、その大蛇に感謝を捧げるため、大蛇祭(大将祭り)として氏神さんに参るようになった。これが現在に続く樽かきの始まりである。



恒屋城跡(ほか7箇所)



赤松氏の家臣恒屋氏の居城で、長禄2年(1458)頃築かれたという。恒屋城は、前城200m、後城は236mとされ、特に西斜面には長さ6~12mの竪堀が何本も掘られている。竪堀が残る城跡は、山城研究において貴重な史跡である。



岩部の渡し



岩部自治会に保存されている明和5年(1768)の「岩部村横渡し由来」によると、享保の中頃(1730年頃)に横渡し舟の許可を取ったことが分かり、以来馬橋の宿場と渡し場周辺の繁栄が続いてきたと伝わっている。



土師獅子舞



土師大年神社の秋祭りに奉納されている。祭礼当日は、氏神、大年神社と山王神社で舞い清めた後、集落全戸を廻って荒神祓いを舞う。現在、13種の演目が伝承されている。市指定無形民俗文化財。



片山古墳



標高81mの尾根上に築かれた全長約30m、後円部径約20m、後円部の高さ約3mの前方後円墳。築造は6世紀中頃とみられている。昭和48年に県指定史跡となった。



櫃倉踊りと播州音頭



8月最後の土曜夜、晦踊りと呼ばれる播州地方最後の盆踊りが境内で行われる。かつて初盆の家を巡り、庭先で踊った盆踊りが変化し、地域の不安であった水不足の祈願を兼ねて踊られるようになった。北恒屋播州音頭は市指定無形民俗文化財。



休養センター香寺荘



JR溝口駅から西へ車で約5分のところにある温泉を備えた宿泊施設である。温泉には「おきな湯」(男湯)「かぐや姫湯」(女湯)があり、竹林を望む露天風呂・寝湯・薬草風呂・遠赤外線サウナなど5種類の湯が楽しめる。



溝口廃寺跡



円覚寺境内の南側に、大伽藍があったことをうかがわせる。心礎3m×2mの播磨最大級の塔礎石群がある。奈良時代前期(白鳳期)の瓦も採取され、聖徳太子大塔跡として知られる。昭和49年、県指定史跡に指定となる。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

相坂トンネル

八徳山八葉寺

鬼追い

香寺総合公園スポーツセンター

香寺夏祭り

相坂川

茶川

恒屋川

大護摩供養(香呂薬師堂)

香呂小学校

矢田部川

**姫路日ノ本短大
日ノ本学園高**

蛇穴神社

香呂駅

**秋祭り
(香寺事務所広場)**

市川

日本玩具博物館 etc

犬飼獅子舞(神明神社)

播但線

312

0m 500m 1km

	遺跡・史跡、 歴史上の名所		伝統芸能 など
	神社・仏閣、 歴史的建造物		景勝
	歴史上の 人物など		生物・花
	祭り 伝統行事		町並み
	美術品		etc その他

相坂トンネル



相坂村から谷山新村へ行くには現在のトンネルの南側の山を越える険しい山道がなく、通行の難所であった。大正10年、トンネルが完成。長さ76mのアーチ型トンネルはレンガで築かれ、町内では数少ない近代化遺産である。



香寺総合公園 スポーツセンター



野球場やテニスコート、剣道場・柔道場・トレーニング室などを完備した武道館などがあるスポーツセンター。芝生広場は各種リクリエーションに利用され、駐車場(約170台収容)も完備されている。



秋祭り(香寺事務所広場)



香呂地区内の各所では、毎年10月に豊作を祝う秋祭りが一斉に行われ、代々受け継がれてきた伝統行事の数々が神社に奉納される。本宮には各地区の屋台が集合し、勇壮に練るさまは豪快そのもの。



香寺夏祭り



毎年8月上旬、香寺総合公園スポーツセンター芝生広場において、開催される祭り。やぐらのまわりで、「香寺音頭」や「炭坑節」に合わせて、盆踊りが行われる。花火の打ち上げもある。



犬飼獅子舞(神明神社)



伝承や天明2年(1782)の犬飼村寺社細帳写し、太鼓の経歴などによると、犬飼獅子舞は天明以前のものと考えられる。獅子の舞い方は16種、うち歌舞、剣舞、四方舞の3役の舞は、人身御供伝説を偲ぶ神楽と言われ伝えられる。



蛇穴神社



祭神は市杵島姫命で、使いの海の生物にちなんだ絵馬が多く奉納されている。蛸が褌をつけた絵馬は非常にユニークで、明治から大正の頃のものといわれる。市指定文化財。



大護摩供養(香呂薬師堂)



およそ60年前から2月3日に薬師堂に於いて行者(山伏)7~8人を招いて厄除けの大護摩供養を行っている。信徒総代、厄年の者が準備をして、薬師堂内で内護摩供養を行い、前の広場で大護摩(外護摩)を焚く。



日本玩具博物館



白壁土蔵造りの6棟の建物の中に、日本の郷土玩具、駄菓子屋の玩具、世界150カ国の玩具約8万点が収集され、常設展の他、1号館と6号館の2つの建物で季節ごとに特別展が催されている。



鬼追い



八徳山八葉寺では、播磨天台六ヶ寺の伝統行事である鬼追いが、1月7日播州路のトップをきって行われる(市指定文化財)。青鬼は不動明王の化身、赤鬼は毘沙門天の化身で、現在用いている鬼の面は元禄時代のもので伝わる。



八徳山八葉寺



天平年間、行基によって開基せられ、平安末期、寂心が七堂伽藍を整備した播磨天台六ヶ寺の一つ。書写山圓教寺の性空上人、寂心へ贈られたと伝わる沐浴の湯釜(市指定)、厨子(県指定)など多くの文化財がある。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

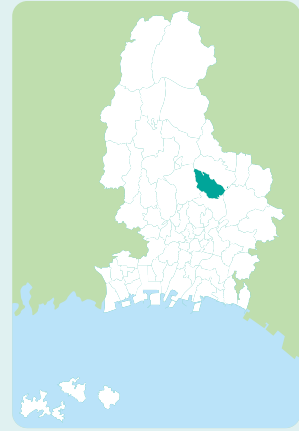
2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り・伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

櫻の木



田川神社のケヤキは、本殿の裏手に2本あり、大きい方は推定樹齢600年とされ、幹の周囲約6m、背丈はおよそ30mを越す。ケヤキは雌雄同株、ニレ科の落葉樹で、早春に若葉とともに淡い黄緑色の花をつける。



親王塚



この塚は後醍醐天皇第三皇子護良親王御子陸良親王の塚と伝えられている。この塚により付近の地を親王塚垣内、略して親王垣内と言ったが、明治以降は新野と改められた。しかし土地の人は今なお「シンノウ」と呼んでいる。



瑞雲山常福寺



元禄13年(1700)、隠元禪師の弟子実伝が、平安時代に建てられた極楽寺の跡に再興した黄檗宗の寺院。中国風の楼門が美しく、キリシタン灯籠や江戸時代に出土した土製の阿弥陀坐像など貴重な文化財が残っている。



田川神社



この地区の水田を潤す須加院川をあがめて建立され、式内社として広く信仰を集めてきた。社殿後方には、推定樹齢550年の大ケヤキ(市指定天然記念物)を初め、広い境内には多数の古木が見られる。



八幡神社(香寺町須加院)



神崎郡誌に「応神天皇の車駕播磨国に神崎郡行幸あらせられた時、的部里鍊金山を経て当社鎮座地に御駐輦の事あり。後人其地に社殿を建て天皇を奉祀した」とある。当初の社殿は現在の神殿の南にあったと推察される。



播磨極楽寺瓦経塚



常福寺の辺りは、平安時代には播磨極楽寺が繁栄していた。僧禅恵によって天養元年(1144)に経塚が築かれており、寛政11年(1799)に経塚遺物として土製阿弥陀如来坐像や土製地藏菩薩坐像などを発掘。国指定重要文化財。



毘沙門天王堂



「播磨国風土記」に出てくる「石座の神山」で、神の座と信じられた磐座。石仏立像は、御身丈2尺5寸。毘沙門天王堂は、天保15年(1844)、方二尺の堂を建立、明治42年に現在の堂に安置。



磨崖題目碑



仁豊野用水完成の寛文元年(1661)から20年ほど後の天和元年(1681)に、日蓮没後400年を記念して作られたといわれ、宝暦2年(1752)に整備。



宮ノ前古墳



常福寺に隣接する八幡神社の東方丘陵に、東向きで開口している。横穴式石室で、墳丘は残されていないが、香寺町内に存在する横穴式石室としては最大規模のものである。



蓮香翁寿碑



蓮香(鷲野慧通)は田野で寺子屋を開き、遠近から学者400人を数えたと伝わる。その功績を称え、地藏堂の境内に門弟が還暦の祝いに立てた。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

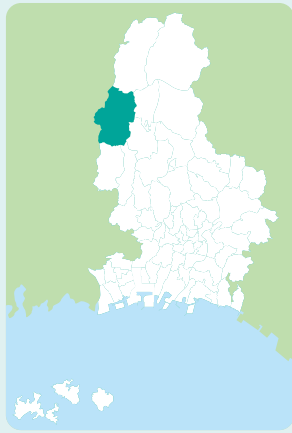
3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

安富南地区

別紙MAP
B-3・4、C-3



中国自動車道

29

木造不動明王立像他絵画2幅
【国指定重要文化財】

安志加茂神社

今念寺五重石塔【県指定文化財】

あじさい公園

安富中学校

藩主小笠原氏の墓碑

安富南小学校

安志藩陣屋跡遺跡等

安志姫神社

六角古墳

林田川の桜並木と菜の花

天神のムクの木【県指定天然記念物】

林田川



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り・伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

あじさい公園

安富地域推奨の花、あじさいがたくさん植えられており、6月中旬から美しい花が咲き梅雨空を華やかに彩る。公園内の池にはシレーゲルアオガエルやモリアオガエルが生息している。



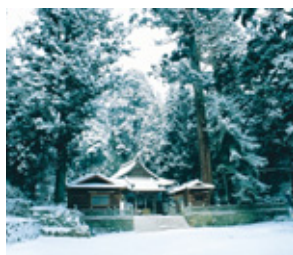
天神のムクの木 【県指定天然記念物】

天満神社の根回り約10.5m、樹高18.6m樹齢約600年といわれるこのムクの木は、老木の風格を備え、見事に整った樹形は県下有数の巨木として価値が高いもの。県指定天然記念物。



安志加茂神社

京都賀茂別雷神社（上賀茂神社）の荘園、安志庄の総社として建立された神社で、境内には安志稲荷、新池の中に弁天宮を祀る。境内の杉の大木が落雷を受けて下さるため、加茂の氏子には雷が落ちないといわれている。



林田川の桜並木と菜の花

林田川の堤防沿いに植えられた約200本の桜並木と、土手を埋め尽くすように咲く弘法大師ゆかりの菜の花は4月上旬が見頃。春の暖かい日差しの中で満開となり、花見を楽しむ多くの人々で賑わう。



安志藩陣屋跡遺跡等

享保2年（1717）豊前中津より安志に移封された小笠原氏は現安富中学校の所に陣屋を構えた。その表門は長野の真光寺の山門として、また大手門は姫路市実法寺の齋神社の山門として現存している。



藩主小笠原氏の墓碑

安志藩主小笠原氏の2代長達、5代長武は安志で没したので、菩提寺法性寺墓地に埋葬されている。元の墓所が中国道にかかったため少し移転している。



安志姫神社

「播磨国風土記」の、安師の里の地名起源説話にある「安師比売（アナシヒメ）神」を祀る。安師比売は、大和の穴師座兵主神と同系の神と思われ、比売が伊和の大神に対抗できたのは、大和の力が背景にあったためかと思われる。



木造不動明王立像他絵画2幅 【国指定重要文化財】

本尊不動明王立像は平安時代末期の檜一木造りで、承安元年（1171）に旧安志藩主小笠原氏の遠祖の加賀美遠光が高倉天皇から拝領。小野篁作と伝わる。小笠原氏の祈願所であった光久寺本堂は平成21年に焼失した。国指定重要文化財。



今念寺五重石塔 【県指定文化財】

今念寺にある凝灰岩製石塔。相輪を欠いており、現存部の高さは1.91mで鎌倉時代の作とされている。銘のある石造層塔としては県下最古で背面に「弘安三年（1280）庚辰二月日願主沙弥成仏」と刻む。県指定文化財。



六角古墳

7世紀半ばに造られたと思われる対角長約7mの小規模の六角形の古墳。平成3年の発掘で日本で初めて墳丘が六角形であることが確認された。当時一帯を支配していた豪族山部三馬かその一族が被葬者ではないかといわれている。県指定史跡。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

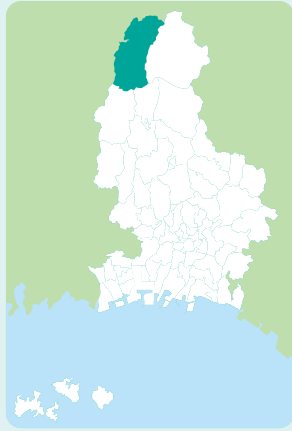
2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



奥播磨ふるさとかかしの里

etc

関の生活エリアに、山村の情景に合った「かかし」が随所に配置されており、訪れる人々に癒しと和みを与えている。このかかしを観るために近畿一円から人々が訪れるようになり、地域の活性化にも大きく貢献している。



グリーンステーション鹿ヶ壺

etc

食堂・大広間・バーベキュー棟などが利用できる鹿ヶ壺山荘。周辺にコテージ・オートキャンプ場をはじめ、キャンプ場・多目的広場がある。また、近くには醤油蔵を移築したふれあいの館があり、コンサート・展示ルームとして利用できる。



鹿ヶ壺



県指定の名勝で、渓谷の岩床が永い歳月を経てできた罅穴が十数個連なる。「鹿ヶ壺」の名称は、最上流の罅穴が鹿の寝姿に似ていることから由来する。水深が深いものには「底なし壺」等、いずれの罅穴にも名称がつけられている。



末広のアンモナイトとフズリナ

etc

昭和28年の林道工事の際、アンモナイト(外殻)が発見された。京都大学の調査では、アンモナイトは発見されず、フズリナ化石が新たに発見された。この辺が海底から隆起して形成されたことを証明する貴重な歴史の証人となっている。



千年家(旧古井家住宅) 【国指定重要文化財】



室町末期築と推定される、入母屋造り、茅葺き屋根の農家。神戸の箱木家住宅と共に、最古の中世農家建築と認められている。床下には亀石という大きな岩が、厄除けとして祀られている。国指定重要文化財。



朽原天満神社の社叢



常緑広葉樹に被われた社叢は、植物生態学上一次林の残存林として評価されている。スダシイ・榊・アラカシ等で高木層を形成しているが、スダシイが優先する林田川最上流域のシイ林で、西播地域では数少ない典型的なシイ林である。



富栖鉱山並びに周辺景観



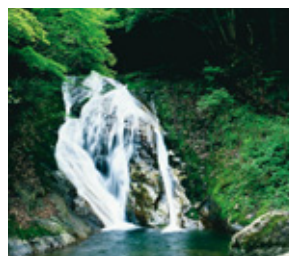
市内唯一の本格的な金鉱採掘鉱山で、掘削延長は約16km超。現在は休鉱し、坑道は閉鎖中だが、発生するラドンを利用した日本唯一の免疫ホルミシス坑道がある。モリアオガエル、オオルリなどの生息もみられ、自然豊かな環境が残る。



三ヶ谷の滝



谷川沿いの遊歩道を登ると正面に見えてくる落差約20mの滝。横に長く切り立った岩盤に白く水が流れ落ちる様子は優美で、訪れる人に一時の安らぎを与えている。また、滝の中ほどには、雨乞いをしたといわれる不動明王が祀られている。



水尾神社の社叢



暦応元年建立、17世紀再建の水尾神社の社叢には、県指定天然記念物の大スギをはじめ、アラカシ・アサダ等の大木が自生しており、ヒメボタル・ヒメハルゼミも生息し、接続する水尾公園にも貴重な水生生物が水棲するなど自然の宝庫である。



安富ダム

etc

昭和61年に完成した重力式コンクリートダムで、堤体の高さ約50m、長さ約145m、総貯水量295万㎡の規模を持つ、洪水調節を主目的としたダム。周囲を山で囲まれ、湖面も美しく、四季折々の修景を楽しみながら外周を散策できる。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧